

古川黎明中

学級ごとの個性が花開く



これがイチオシ

将来見据えた授業魅力

古川黎明中学校では、授業でも中高一貫校という特色を生かしています。高校の先生方が授業を教えに来てくださったり、総合的な学習の時間での講師をしていただいたりしています。細分化された授業を行う高校の先生だからこそ、より詳しく教科の指導をしてくれます。

進学へのアドバイスもあり、高校や大学の学習にもつながる話題を聞くことができます。中学校から将来を見据えた学習に取り組むことができるというのが、特色であり魅力です。

学校名 宮城県古川黎明中学校
所在地 大崎市古川諏訪1の4の26
創立 2005年
電話 0229(22)4260
校長 佐藤 浩之
生徒 313人

古川黎明中学校の生徒会活動のひとつに文化祭「黎明祭」があります。中高一貫校という特色を生かして、毎年7月、合同で開催します。各学級のステージや文化部の演技と展示、運動部のアトラクションなど多彩な催しがあります。一番盛り上がるのが、中高各学級の「クラスパフォーマンス」です。ダンスや演劇、ミュージカルなどを披露します。構成や企画は、生徒だけで考え、学級ごとの個性が表現されます。中でも、高校生の発表は完成度が

中高一貫文化祭も協力

高く、感動で会場が一つになります。文化祭は、中高合同で取り組む発表もあります。コーラス部は、中高ひとつになった迫力のある歌唱が魅力です。自然科学部では、中高の生徒が協力して研究成果を紹介しながら科学の面白さを伝えています。全ての発表は、中高それぞれの生徒が積極的に取り組み、練習から当日の運営まで進めていきます。最高の黎明祭は、「今何が必要か」を常に考えて行動することによって行っています。



クラスパフォーマンスを笑顔(えがお)で発表する生徒たち

編集委員 宇治川愛梨、青木優奈(3年)、児玉莉々子(2年)
指導教員 若生紘人

わが校わがまち スクール通信



今回は 鹿折小(気仙沼市) 館中(仙台市)

伝統つなぎ笑顔で楽しく

全校参加わかば児童会

広瀬小学校は、まもなく創立150年を迎えます。1873(明治6)年に就学児童40人の愛子小学校としてスタート。卒業生は1万3014人に上ります。在校生が一番多かったのが2008年の1392人で、当時はプレハブ校舎も使用していたといわれています。そんな歴史を持つ広瀬小には、全校参加の「わかば児童会」があります。本年度のスローガンは「3キャッチボール〜元氣スマイル・あいさつキャッチボール・あったか言葉」。みんなにアンケートにしたいです。

これからのわかば児童会を中心に、みんなが笑顔で過ごせる活気ある学校にしたいです。



計画委員が作成した昇降口(しょうこうぐち)のわかば児童会のスローガン

編集委員 遠藤和希、相坂咲希、片桐陽琉、斎藤陽斗、佐藤里咲、松橋玲奈、守悠花、門馬羽那、渡辺美舞(6年) 指導教員 青木祐弥

広瀬小



これがイチオシ

四季を彩る蕃山の景色

広瀬小学校の自慢は、教室の窓から見られる蕃山です。標高356mと373m、366mの三つの峰が連なっていて、春から夏にかけては緑が深まり、秋には赤や黄の紅葉に彩られ、四季それぞれで美しい姿を見せてくれます。冬には、蕃山とともに一面真っ白になったグラウンドで雪遊びが楽しめます。

広瀬小のみんなは外で遊ぶのが大好きです。これからも蕃山に見守られながら、教室や校庭でたくさん学び、たくさん遊びたいと思います。

学校名 仙台市立広瀬小学校
所在地 仙台市青葉区下愛子二本松40
創立 1873年
電話 022(392)2208
校長 斎藤 敦子
児童 589人